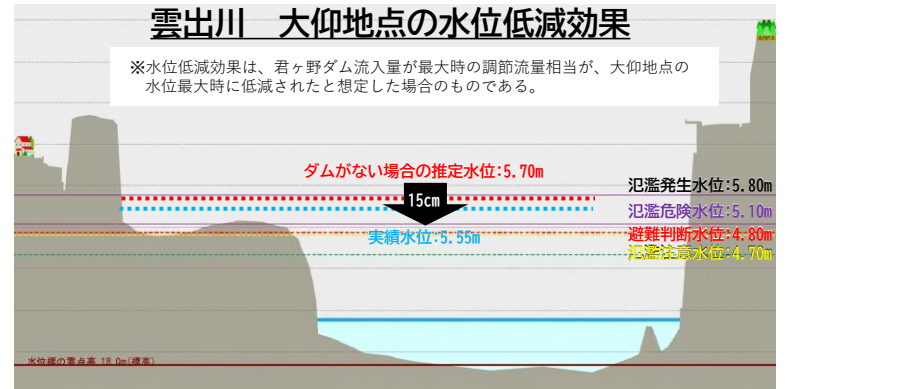
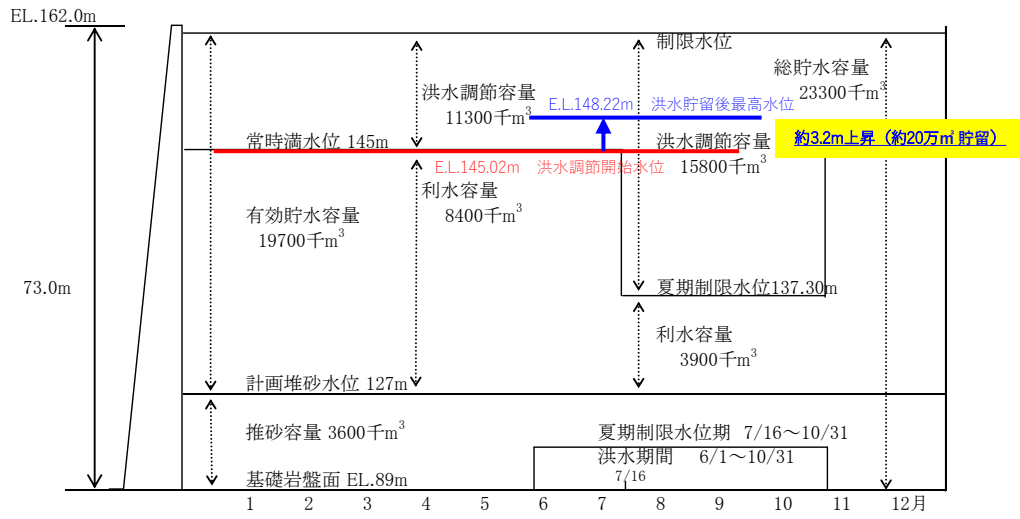
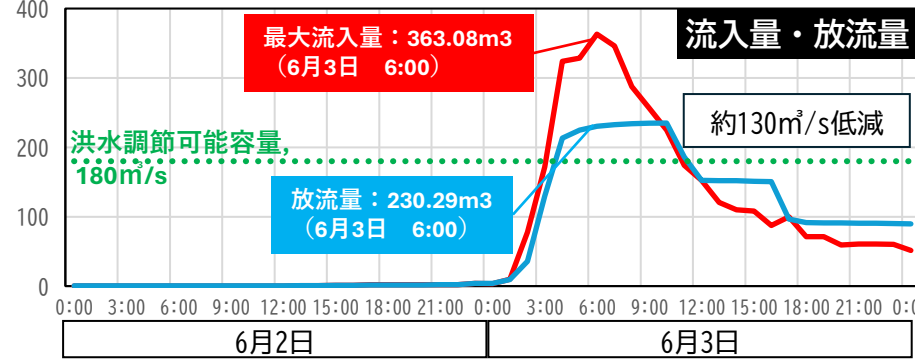
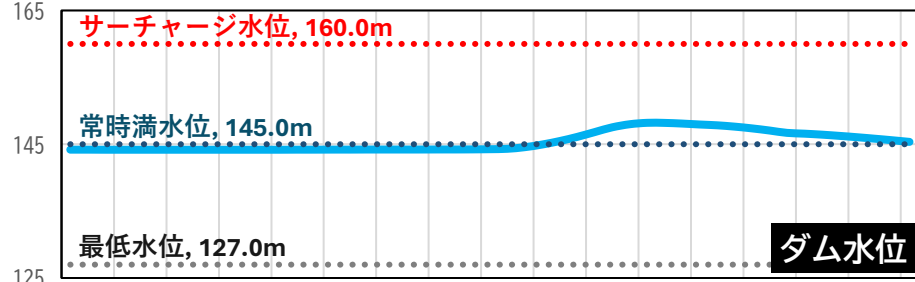


くもずがわ きみがの
雲出川水系君ヶ野ダムの洪水調節による治水効果(令和8年台風第6号)

- 台風6号により、一級水系雲出川水系八手俣川(はてまたがわ)で三重県が管理する君ヶ野ダム地点において、308mm(6月2日4時~3日9時)の累積雨量を観測。
- 君ヶ野ダムでは最大流入量約363m³/sを観測したが、洪水調節(洪水調節容量:1,130万m³)を実施しダムに洪水を貯留したことから、下流へ流れる洪水の量を約230m³/sに抑え、約37%低減し、下流の水位低減効果に寄与した。
- これにより、ダム下流の大仰(おおのぎ)地点で 約15cmの水位低減効果があったと推定される。

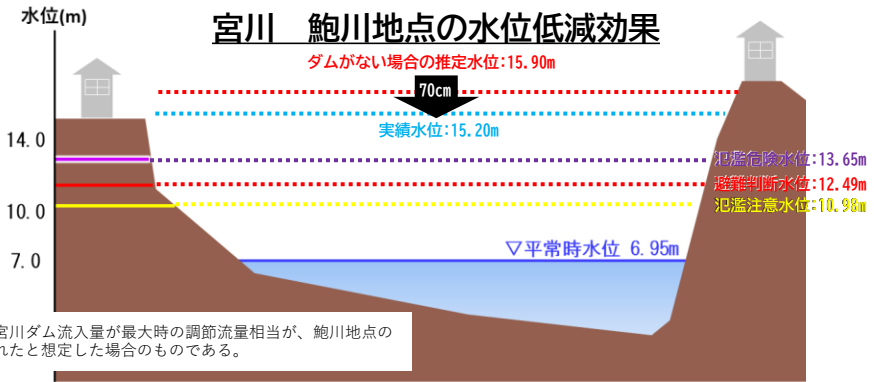
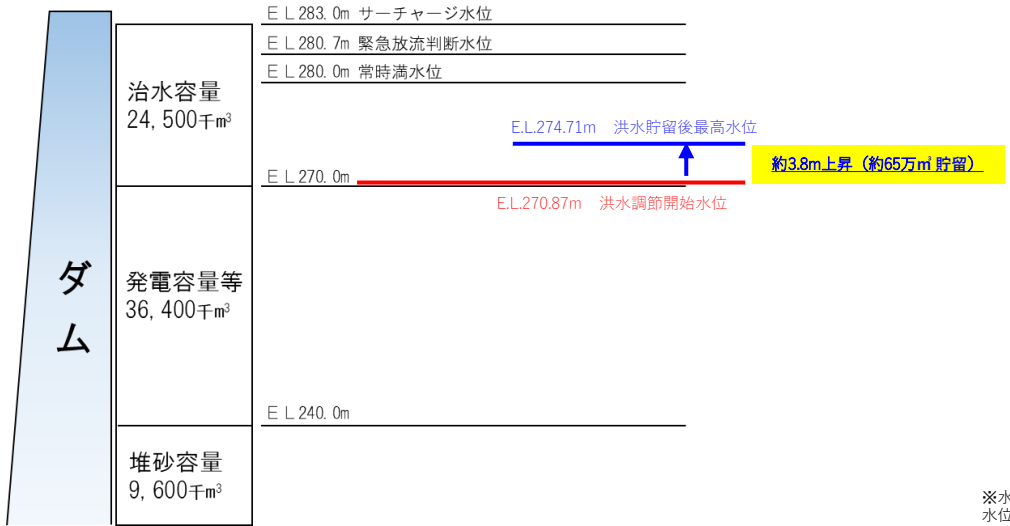
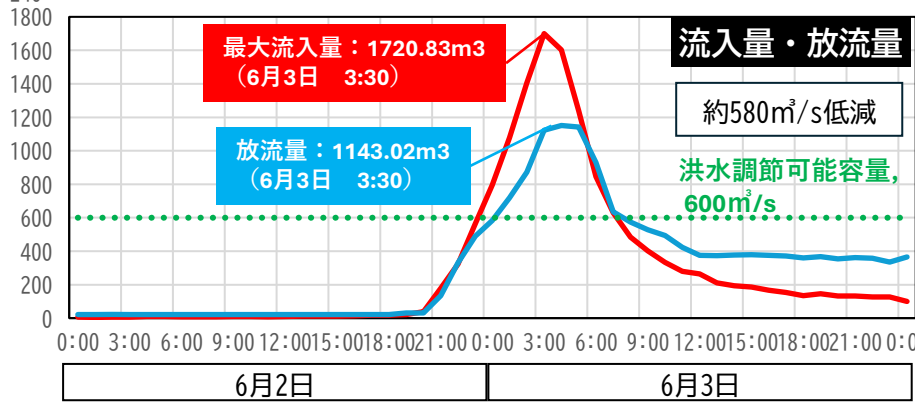
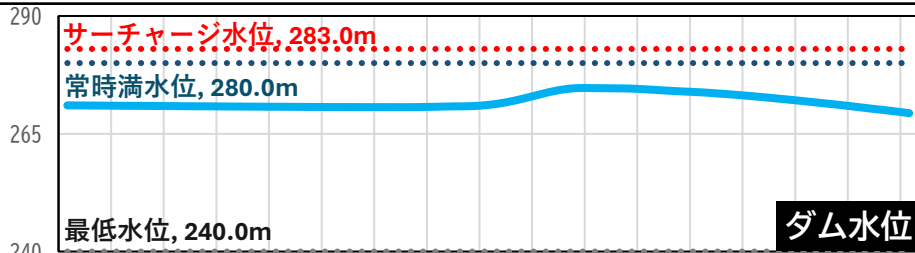
位置図



みやがわ 宮川水系 宮川ダムの洪水調節による治水効果(令和8年台風第6号)

- 台風6号により、一級水系宮川水系宮川(みやがわ)で三重県が管理する宮川ダム地点において、398mm(6月2日3時~3日10時)の累積雨量を観測。
- 宮川ダムでは最大流入量約1720m³/sを観測したが、洪水調節(洪水調節容量:2,450万m³)を実施しダムに洪水を貯留したことから、下流へ流れる洪水の量を約1143m³/sに抑え、約33%低減し、下流の水位低減効果に寄与した。
- これにより、ダム下流の鮑川(はいかわ)地点で 約70cmの水位低減効果があったと推定される。

位置図



※水位低減効果は、宮川ダム流入量が最大時の調節流量相当が、鮑川地点の水位最大時に低減されたと想定した場合のものである。